



ゆっくりと自分のペースで勉強したい人は、「じっくりクラス」でマン・ツー・マンの授業が受けられる。



教材は遠友塾スタッフの手作り。わかりやすく実用的だから、すぐに役立つ。

夜間、通い続けるには強い意志が必要です。出席率はいいですか。出工藤 いいですよ。仁木や苦小牧から通っている人もいます。卒業生二百五十三人の中には旭川、風連、釧路からの人もいますし、函館から通って皆勤賞の人もあります。遠方から毎週水曜日、三年間通うな



2年生の国語の授業。「人の噂も……」の問いに、「七十五日」と答える前に、「四十九日」とささやく声が出て、一層なごやかな雰囲気。

学習から広がる世界 仲間を得る喜びも

生活基本漢字とは、どのようなものですか。
工藤 地下鉄の駅名とか、病院や銀行に行った時に必ず使う文字などです。漢字に限らずアルファベットも重要で、例えば、病院で「エム・アール・アイ（MRI）に行ってください」と言われても、アルファベットがわからなければ、行きようがありません。今の世の中、文字が読めることを前提に何もかも作られています。公立夜間中学の見学で奈良に行った時、道路標識の漢字にひらがなが振ってあり、こういう心遣いが必要だとつくづく思いました。

——そうそうできるものではないですね。よほど強烈な動機と、定年を迎え時間ができたとか、丈夫であるとか、お金の都合がつくとか、諸条件がそろって初めてかなうことです。身近なところには夜間中学があると、もっと多くの人が学ぶことができます。
——道内に新たに夜間中学ができる予定は。
工藤 二〇〇八年春、ようやく旭川に自主夜間中学が誕生します。釧路、函館、稚内、網走、苦小牧、室蘭などにもあったらと思います。
——開設時から遠友塾に携わって感想は。
工藤 熱心に学ぶ受講生を見ると、「人間って、こんなに素晴らしいものなのか」という驚きと感動があります。勉学を切望しても学ぶ場がなく、読み

●受講生の声 じっくりクラス 桑山 玉枝さん(77)

私は家庭の事情で、小学校一年生までしか行けませんでした。長い間、カタカナしか読み書きできず、随分、泣きました。年金がもらえるようになって仕事を辞めた時、真っ先に考えたのは、「字を覚えたい。学校へ行きたい」ということでした。友達に相談したのがきっかけで遠友塾を知り、平成十一年から通っています。学校に通えるうれしさは、例えば様がありません。昨年は八カ月かかって自分史を書き、今年は生まれて初めて「はがき」を出しました。暑中見舞いです。今、年賀状を出すのに住所や名前の漢字を練習しているところです。



受講生からの暑中見舞いや手紙は、工藤さんの宝物。

書きができないことを隠し縮こまるようにして生きてきた人が、どれだけ多いことか。誰にも学ぶ権利はあるはずです。ここへ来て、仲間と共に楽しく学び、元気に前向きに生きていっていただきたい。切にそう思います。周りに学びの場を探している人がいたら、遠友塾があることを知らせてください。文字が読めなければ、こうした情報も得ることができないのですから。

(取材二〇〇七年十一月二十一日)

ここが聞きたい

夜間中学の授業と必要性について



札幌遠友塾自主夜間中学代表
くどう けいいち
工藤 慶一さん

毎週水曜日の夜開かれる札幌遠友塾は、ボランティアに支えられる自主夜間中学。現在、二十代から八十代の八十五人が通い、熱心に受講しています。夜間中学では、どのようなことを学ぶのか、また、どのような人に必要とされているのか、札幌遠友塾自主夜間中学代表を務める工藤慶一さんに伺いました。

勉強をしたい人に 学びの場を

—夜間中学とは、どのような学校ですか。
工藤 正式には中学校夜間学級と呼ばれ、夜、授業を行います。

戦後、空襲で焼け出された子どもを対象に、夜なら学校へ来られるだろうと、教師たちが明かりをとめて授業を行ったのが始まりといわれますが、現在、公立の夜間中学は東京・大阪を中心に八都府県に三十五校ある

だけで、北海道には一校もありません。

—札幌遠友塾自主夜間中学（以下、遠友塾）、開設の経緯は。

工藤 かつて北海道には、新渡戸稲造・萬里子夫妻が日中、学校に通うことができない子どもたちのために設立した遠友夜学校（一八九四～一九四四）がありました。その志に共感し、札幌遠友塾読書会を開いていたメンバーの中から、夜間中学を作ろうという声上がり、一九九

〇年、開設するに至りました。

—遠友塾の受講対象者は。

工藤 戦争、貧困、病気などで小・中学校に行けなかった人、小・中学校を卒業したけれども基礎的な勉強をもう一度したい人、現在、何らかの事情で中学校に行っていない人などです。

—修学したくてもできなかった人は、大勢いるのですね。

工藤 例えば、戦後、満州などから引き揚げてきて、大変な苦勞をし、気づいたら学齢期を過ぎていたという人が少なくありません。遠友塾には、そうした経歴の人や中国帰国者とその家族、それから不登校経験者も来ています。

ひらがな、足し算 アルファベットから

—遠友塾では、どんな勉強をするのですか。

工藤 国語、数学、英語と月一回の社会です。国語はひらがなから、数学は足し算から、英語はアルファベットから、社会は地図の見方から勉強します。

—スタッフは、全員ボランティアだそうですね。

●札幌遠友塾自主夜間中学

多くの人たちの支援のもと、札幌市教育文化会館（札幌市中央区北1条西13丁目）において毎週水曜日の夜間（18:20～20:50）、授業などを実施。テストはなく、修業年数は3年、再履修も可。費用は月1,500円。
問い合わせ：工藤（TEL & FAX：011-584-3369）
URL <http://enyujuku.com/>

工藤 はい。現在、学生、会社員、主婦、現任教員、退職教員など、七十五人が登録し、授業、各クラスの受付・会計、ホームルームや行事の計画準備など、さまざまな役割を担当しています。授業は授業担当者を中心に、各教科担当とクラス担当スタッフが協力し、一斉授業と個別指導を交えて行っています。

—教材は。

工藤 小学生向けの教材など既存のものは、ここでの学習に適さないのです、すべて手作りのプリントです。知恵を出し合い工夫をする一方、公立夜間中学の先生方に相談し、いろいろサポートしていただいています。東京の先生が作られた生活基本漢字の一覧などは、とても役立っています。

